

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和 7 年 3 月 18 日

事業所名 放課後等デイサービス ハッピー・シード

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	5	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4	0		おおよそ段差のないスペースで活動しているが出入口等は完璧ではない、必要に応じて考える
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談を行っている ・社内研修 ・面談 	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回アンケート調査を行い意向があれば検討している ・評価表の実施及びそれに基づいて改善 	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公開している ・毎年公表している 	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年に6回研修を行っている ・研修計画の立案を実施 ・計画的に行われている 	
適切 な 支 援 の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回聞き取りを行い計画を作成している ・定期的なモニタリングの実施 ・面談によりニーズ等を把握 	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の技量に頼っている 	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月間スケジュールを作成し職員全員で確認している ・月間メニューの作成、ミーティング実施、生徒の意思の取り入れ 	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	・月間スケジュールを作成し職員全員で確認している ・月間メニューの作成、ミーティング実施、生徒の意思の取り入れ	新メニューも検討している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	0	・月間スケジュールを作成し職員全員で確認している ・全体スケジュールと個別スケジュールの作成	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	・個別活動と全体活動を区別している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	・昼礼で毎日情報を共有している ・可能な限り昼礼を行い情報共有している	長期休暇時は勤務時間の関係でできないことがある→社内ポータルサイトに情報共有
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4	0	・翌日に行っている ・送迎業務によりできないため開始前に行っている ・時間的に難しいので翌日の昼礼で振り返りを行う	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	・毎日記録をとっている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	・半年に1回モニタリングを実施(面談)	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0	0		
関係 機 関 や 他	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0	0	・保護者を通じて行っている ・下校時間表・行事予定表の活用 ・変更時には連絡をもらっている（メール等）	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	0		必要な生徒がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	0	・相談支援員さんを通じて行っている ・相談支援員と情報を共有	

	チェック項目	どちらとも いいえ			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
		はい	どちらとも いいえ	いいえ			
保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	0	・必要があれば情報提供を行っている ・今まで該当生徒がいないが求められれば提出できる	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	0	・近隣の事業所と連携している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5	0		
	27	自立支援協議会等へ積極的に参加している	0	5	0	・時間が合わないため	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	・メールだったり送迎時に伝えている ・メールやLINE、TEL、モニタリングなどで情報を共有している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	0	・必要に応じて助言を実施	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	・契約時に行っている ・モニタリング時、契約時に説明	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	・必要な際は行っている ・メールやLINE、TEL、モニタリングなどで実施	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	0		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	・重要事項説明書に記載している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	4	0	・メールやSNSで行っている ・会報等は発行しないがLINEやメールなどで情報を発信している	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	・研修を行っている	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	0		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	0	・職員には周知している	保護者には周知していない→HPに掲載
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	・年に4回行う	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	・年に1回行っている 社内研修、虐待防止委員会を開催	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0	・該当する生徒がいないが研修を実施している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	5	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	・社内ポータルサイトに掲載し、情報共有・周知している	